

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

し求める」が原意ですが、「思慕する」や「恋慕う」といった意味合いもありますので（新共同訳参照）、目に入れても痛くない大切な存在という感じが伝わってきます。次の「喜び」（χαρά カーラ）は心が躍るような気持ちであり、「冠」（στέφανός ステファノス）は月桂樹の冠に象徴される勝利者の徴や最高の榮譽を表します。このようにパウロは畳み掛けるようにしてフィリピの教会の人たちを称賛しています。思いつくままに感嘆の言葉を並べているのです。好きに溢れているといった感じでしょうか。

フィリピ4:1の短いテキストから、パウロにとってフィリピの教会の人たちが他に代えることのできないかけがえのない存在だということが伝わってきます。19世紀のデンマークの哲学者セーレン・キェルケゴール（1813～1855年）は実存主義の創始者ですが、「実存」（existentia）とは——抽象的な「本質」（essentia）の反対の概念であり——「他に代えることのできない存在」を表します。キェルケゴールは「自己」という実存に拘り続けたのですが、パウロはフィリピの教会という「他者」をかけがえのない存在として讃えています。学生のみなさんが自分自身をかけがえのない存在として大切にしつつ、この大学でかけがえのない存在である誰かに出会えるように心より願っています。

【2022年度春期キリスト教教育強調週間】

- ・日時：2022年5月24日（火）10時40分
- ・聖書：テサロニケの信徒への手紙一 5章16-18節
- ・主題：「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。——酪農学園大学で学べる大切なこと」
- ・講師：宮庄 拓先生（獣医保健看護学類動物生命科学ユニット講師・日本キリスト教団堺教会員・獣医学博士）

代々のクリスチャンホームで育った篤信のクリスチャンである宮庄先生に講師をご担当いただき、愛唱聖句である I テサロニケ書5章16-18節から、先生の宗教観・人生観をお話しいたします。是非ご出席ください。

【ウクライナ支援募金のお願い】

すでにお知らせしていますように、酪農学園では、ロシアによるウクライナ侵攻の停戦を祈りつつ、具体的な支援として、ウクライナ支援募金を実施しています。詳細は各所の掲示や UNIPA の配信等でご確認ください。

- ・期間：2022年4月25日（月）～5月20日（金）
- ・募金箱設置場所（大学）：学群事務室、フィールド教育研究センター農事課、学生サービスセンター2階（教務課カウンター）

【大学礼拝週報】2022年度 第5号（前学期第5号）

2022年5月17日（火）午前10時40分

リモート礼拝（酪農学園大学 黒澤記念講堂）

《大学礼拝》

〈礼拝動画の配信〉

前 奏

讃美歌 讃美歌第二篇 157 番（この世のなみかぜさわぎ）

聖 書 フィリピの信徒への手紙 4 章 1 節

奨 励 「かけがえのない人へ」 小林昭博先生（宗教主任）

祈 り

讃美歌 讃美歌 2 1 513 番（主は命を）

報 告

後 奏

【本日の聖書】フィリピの信徒への手紙 4 章 1 節

1 だから、わたしが愛し、慕っている兄弟たち、わたしの喜びであり、冠である愛する人たち、このように主によってしっかりと立ちなさい。

【メッセージ】「かけがえのない人へ」

本日の聖書テキストはフィリピの教会の人たちを大切にするパウロの思いの丈が記されています。新共同訳聖書は日本語として通るように訳していますが、フィリピ4:1の原文を直訳すると、「それゆえ、わたしの兄弟たちよ、愛する者たちよ、切望する者たちよ、わたしの喜びよ、わたしの冠よ、このようにあなたたちは主において立ちなさい、愛する者たちよ」となります。このように文法的には少しおかしな表現になっているのですが、この文面からパウロがいかにフィリピの教会の人たちを深く愛し慕っていたのかがヴィヴィッドに伝わってきます。「愛する者たちよ」（ἀγαπητοί アガペートイ）という表現は最後にもう一度繰り返されていますが、やはり「愛」の宗教であるキリスト教にとって最も重要な賞賛の呼びかけだと言えます。続く「切望する者たちよ」（ἐπιπόθητοι エピポテートイ）は「探